



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1108

08.06.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

第二の革命

第二巻：人民の国家

第5部

旧来の労働者運動の継承と実行者は、国家社会主義とファシズムになった。KPD、SPD、労働組合という労働者の組織が、1933年には実質的に大衆の支持を得られず、抵抗することなく解散を受け入れなければならなかったことは、象徴的なことである。

そして、国家社会主義人民国家だけが旧来の要求を満たし、労働者階級の戦闘日であるメーデーを国民的記念日としたことは、マルクス主義から国民的労働者運動への移行の象徴でもある。

同様のことがイタリアのファシズムによって達成され、そのドゥーチェであるベニート・ムッソリーニは、最初は社会党の革命派の指導者であり、中央機関紙「アヴァンティ」の編集長であったが、この変化を彼自身の中で体現していた。今、もはや拳が威嚇することなく、開かれた手がファシストの敬礼で差し伸べられるところでは、労働者を民族共同体に対等に統合し、民族社会主義を形成することによって労働者運動を勝利に導き、階

級闘争に終止符を打つ、その発展が始まることができた。

このフォルクスゲマインシャフトは、今日まで影響を与え続けている。少なくともドイツでは、ファシズムの下よりも精力的かつ断固として実現された。

我々に強要された戦後の改革社会主義、社会民主主義、労働組合の復活は、反動的であるだけでなく、長期的には、大きな苦難と犠牲の上に生まれたわが民族の団結を危うくする。この政治的潮流は、それ自体長持ちせず、人民の、あるいは労働者階級の現実にもニーズにも対応せず、せいぜい災いをもたらすだけである。

60年代半ば以降、マルクス主義はわが国の若い知的エリートの大部分を掌握した。この「ネオ・マルクス主義」の中核は、昔も今も学生運動であり、学生運動はやがて思想的行き詰まりの犠牲者となった。革命の火種が労働者階級に広がらなかったのは、マルクス主義の学生たちのブルジョア階級の傲慢さが、広範な人民大衆のニーズを無視し、「小ブルジョアの発想」とさえ嘲笑したためである。

その結果、学生運動は失敗し、武装革命家、改革社会主義者、正統派共産主義者、毛沢東・スターリン主義者、非ドグマティック社会主義者などに分裂していった。我々は、近年、政治的にかなりの成果を上げている後者にのみ関心を抱いている：

例えば、反核運動やオルタナティブ・グループやリストで組織されている新左翼の一部は、思想的な観点からかなり真剣に受け止めなければならない。ここでは、若い理想主義者や革命家たちが働いている。「信仰と闘争」です。すでに説明したように、もし彼らがマルクス主義の教義から徐々に離れ、新しい種類の社会主義を求め始めたら、必然的にファシスト、いや国家社会主義者の思想の魔法にかかってしまうことを、これらの若者たちに明らかにしなければならないのです。

非ドグマティックな左翼がマルクス主義ドグマティックスの弱点に真剣に取り組み始めて以来、彼らは望まず、気づかず、心ない偽道徳的な「反

ファシスト」のフレーズを維持しながら、無意識に我々に向かって進んできたのです。

このように、国家社会主義者と非道義的社会主義者-毛沢東主義者 / スターリン主義者も認める-は、資本主義と反ユダヤ主義に対する批判の諸点で一致し、ともに資本主義とモザイク共産主義の世界の分割と従属に反対し、超大国とそのイデオロギーの間の第三の道を求め、そして彼らは革命家である。新左翼は国家問題を発見し始めている。一方、コーポラティヴィズムと人種的民主主義の思想には共通点があることに気づいている。

そして時折、政治的な争いの片隅で、両者が驚くようなイデオロギー的な出会いをすることがある：ソ連帝国主義に反対する集会で、パレスチナ革命を支持する集会で、環境破壊に抗議する集会で。

もちろん、左翼は全く異なる生活態度から行動しているので、相容れないことは常に存在するし、国家社会主義は、あらゆる種類のマルクス主義に身を包んだ奴隷制に対する確実な防波堤であり続ける。しかし、若い左翼がマルクス主義の教義を疑い始める限り、「左翼の右翼」と「右翼の左翼」の間、非ドグマティックな社会主義者と革命的国家社会主義者との間には、以前のように感触がある。私たちは、これらのタッチを利用して、革命の夢を奪うことなく、誤った若い理想主義者たちに人々への信頼を取り戻させなければならない。

しかし、革命の担い手は全人民であり、プロレタリアートではありません。

革命の形成者は、国家社会主義である。国家社会主義では、すべての民族的、社会主義的、革命的な流れが最終的に統合され、将来の人民の状態を形成する。カール・マルクスが労働者に意図した任務を果たすことは、労働者の望みではない。労働者は、力によってこれを強制されるだけである。労働者の目的はむしろ、フォルクスゲマインシャフトの対等で尊敬される一員になることである。これが、国家社会主義ドイツ労働者党が戦っていることである！

したがって、党独裁ではなく人民国家を樹立したいのであれば、プロレタリアートが果たせない、果たそうとしない任務を与えるのではなく、人民の方に目を向けなければなりません。

一部の理想主義的な熱狂的な人々は、全人類のために働いている。

また、シオニストの影響下にある大蔵省と共産主義指導者集団の両方が、自分たちが計画している世界強制国家の建設を進めるために、こうした傾向を悪用しているという事実についても、ここでは控えることにしよう。この悪用がなくても、人類のイデオロギーは悪質な妄想のままであり続けるだろう。確かに人類は、その歴史上初めて、もはや国民国家の枠組みでは克服できず、共通の包括的な対策を必要とする、ほとんど解決不可能な地球規模の問題に直面している。

しかし、経験上、協力や合併は、大きな共通の課題か、全員の生命を脅かす危険性がある場合にのみ可能である。全人類を視野に入れた場合にも、そのようなことはありません。それどころか

もし白人世界が、抽象的な惑星的正義が要求するような方法で、人類の残りの部分を促進することを自分たちの任務とみなすなら、滅びるだろう。私たちは生活水準を維持することも、技術や科学の発展レベルを維持することもできないでしょう。このような状況下では、私たちの人種的弱点は、生物学的生存にさえ挑戦することになるでしょう。

種族間の利害と目標の対立は、非常に根本的で両立しがたいものであり、全惑星的な解決は、非常に長い間、まったく考えられない。また、共通の大きな脅威も見当たらない。次の千年紀の問題には、超国家的な政治的単位が必要であることは事実であるが、それは人種的なものである！

共通の課題に直面し、同じ危険にさらされているのは白人世界であって、人類ではない。したがって、私たちの目標はまた、アーリア人の民族共同体であり、統一体として存在せず、予見可能な将来においてせいぜい、白人種が混血を強制されるか誘惑されるかして世界から消滅する、シオニスト支配の奴隷社会という冷徹な脅威として存在しうる人類という非現実的

で有頂天になれる概念ではありません。

かつてベルリンと東京を軸にしたように、あるいは将来的にはローマ帝国の統一を目指すように、異人種との同盟や結束は可能であり、有用である。これらは、責任ある国家政策の要件である。

一方、「人類」は、降伏する準備ができているため、基本的な事実としての人種間の闘争を忘れる幻想のままである。永遠の平和は妄想であり、特に美しいものでもない！それは、私たちが知っている世界、闘争と男性の保護観察の世界の終わりを意味するからである。それは、世界史の片隅に引っ込んで、誰が自分の目を覆って肉を広げてくれるかを待っている、死にゆく人種の麻痺した最終状態であろう。

私たちは、唯物論が非人間的であること、宗教的刷り込みが歴史の過去の時代であること、個人の自由、プロレタリアート、あるいは人類への愛着が人間の思想の異常であることを見てきました。このように、私たちの知性は、自然の永遠の法則のように、すべての生命の基本構造を指し示している：

私たちは、国家社会主義の真理を、好むと好まざるとにかかわらず、あらためて認識します。

私の知る限り、戦後初めて、この基本的な真実を、今日アリア人世界の国家社会主義者の政治活動を決定付ける、短く印象的なスローガンにまとめたのは、イギリスの同志たちだった：

人種や国家のために！

人種や国家のために！

注意深い読者は、私がしばしば国家社会主義とファシズムの評価の違いに言及していることにお気づきでしょう。この時点で、その違いを説明することは有益である。私は、私たちとファシストの同志との間に溝を作るため、あるいはファシズムが間違っていることを証明するために、このよう

なことをしているのではありません：

ファシズムは、我々の文化圏において、国家社会主義に敵対していない唯一の世界観である。戦前、戦中、戦後、ファシストは我々と肩を並べて戦った。最初の頃-20年代-ファシスト革命は、我々にとって輝かしい手本であり、励ましのシグナルだった。アドルフ・ヒトラー："茶シャツはおそらく黒シャツなしには存在しなかったであろう"。

とはいえ、国家社会主義は、単にドイツのファシズムというわけではない。

もちろん、形式と内容の類似性が優勢であり、白人世界のほとんどすべてのファシスト運動に国家社会主義的潮流が存在し、また存在するという事実によって、その違いはさらにぼやけている。そして、これらの運動の中には、政治的戦術の理由から、国家社会主義者ではなく、ファシストと名乗っただけのものもある。

もし私たちが、ナショナリズム、社会主義（コーポラティヴな大衆的共同体思想として理解される）、そして人種の重要性に関する知識を信仰の本質的な基礎と呼び、資本主義、共産主義、シオニズムを主な敵とみなすなら、すぐに決定的な違いを認識することができる。つまりファシズムは必ずしも人種的ではなく、シオニズムにあらゆる状況における敵を見ていない。

だから、戦後、ファシスト国家はあっても、国家社会主義国家はなかったのである--これらの体制の人種的起源にかかわらず。その中で最もよく知られているのが

ペロン政権下のアルゼンチン、スカルノ政権下のインドネシア、ナセル政権下のエジプト、クワメ・ンクルマ政権下のアフリカのガーナ。そう、極端な状況下では、シオニズムを一種のユダヤ人ファシズムと表現することもできるだろう。

したがって、国家社会主義が意識的に自らを白人種に限定し、したがってまた、共通の問題、課題および利益のために、そのイデオロギー的な統一

と団結を維持する一方で--たとえば、ドイツ、イギリス、アメリカの国家社会主義の間に深刻な対立はありえない--、ファシスト運動の場合、同盟はまず締結し交渉しなければならず、必ずしもイデオロギー的共通性から生じるのではないことを知らなければならない。

ファシズムは、人種的基盤がないために、私たちよりも国家とその形態を志向しています。そのナショナリズムは、時に古風で、未来志向ではなく、我々のような民衆ナショナリズムではなく、国家ナショナリズムである。したがって、極端な場合、ファシスト国家間では紛争や戦争さえも考えられるが、国家社会主義国家間では決してありえない。

白人が国家社会主義ではなくファシズムを選択するのであれば、我々はそれを尊重しなければならないが、同志はこの決断の問題点を認識していなければならない。だからこそ、私は、国家社会主義革命とファシスト革命の間の古くからの試行錯誤の同志関係を破壊することを望まず、今回、二つの思想の相違をはっきりと表現したのである。

ここに、私たち個人と民族の人生の意味があるのです。生存のための闘い、アーリア人の新しい開花のための闘いは、私たちの小さな自己を歴史の力強い流れに融合させる。新しい高度な文明の夢は、私たちの目の前に立ち上がっているのです。数年後には、アーリア人はその歴史的存在の新しい千年紀を迎えます。これが墓標となるか、新たな偉大さの記念となるかは、私たち次第である。

私たち国家社会主義者は、次の千年紀の秩序を形成したいと考えています！この新秩序が最終的にどのようなものになるのか、私たちは推測することができません。私たちは、想像を絶するほど偉大で、美しく、圧倒的な文化への門の前に、胸を躍らせて立っています。私たちは、もはやそれを見ることはできないが、そのための地ならしをしているのである。

アーリア人が文化の創造者であることを再び証明することができる帝国、この地球上の知識とすべての富がいつか自由に使えるようになる

帝国がどのようなものになるのか、誰が言えるでしょうか。このアーリア人の世界秩序だけが、私たちの目標ではありません。その背後には、まだ秘密の夢があり、最後の、隠された目標である「新しい人間」がある！

ニーチェは、「人間とは克服すべきものである」と述べている。

私たちは、国家社会主義的世界観の最も外側で最後のフロンティアの前に、信仰と衝撃のうちに立ち、その背後には、すべての生命の発展の意味、進化の意味だけが明らかになる。自分の中に隠れているものをすべて使い果たし、宇宙を征服し、時間を打ち破ろうとする人間、自分を想像を絶する偉大で新しいものへの架け橋としてしか理解しない人間、進化の次の一步を踏み出す勇気のある人間、それが、この人間である。

ここでは、戦士は沈黙せねばならず、詩人だけが語ることができる。自分の中に偉大さを感じる人にとって、ニーチェの『ツァラトウストラ』は、最後のものの予感を与えてくれるかもしれない。

それは、すべての背後にある夢である。アーリア人種と同じくらい古い夢：

アーリア人はいたるところで、天に近づき、星を目指すために、強大な神殿、高い塔、強大なピラミッドを建設しました。今日、私たちは、歴史的存在と生命の神秘のこの一角を把握すること以外には、何も与えられていない。

私たちの切望は、人類の歴史を正当化し、完成させる新しい人間へのものです。人間は克服すべきものである。

アーリア人種のすべての力と可能性を自らの中に統合する国家社会主義だけが、新しい人間を形成し、繁殖させることができるのです。私たちは努力します。

人種や国家のために！



NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFF DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 26. April 2017 02.06

Der Kampf geht weiter !

Beide Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Verfolgung und Verdrängung haben nicht angehalten, das Kern der gesamten Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu entwickeln.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter- und Kampfgemeinschaften Schicksal als Schicksal im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völker. Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkermord ist heute noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist es, Adolf, den Völkermord - gegen alle weißen Völker (V) - zu begreifen. Seine Mittel sind Erziehung, Überführung und Kampfschulung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob im Propagandakrieg bzw. auf dem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gerdhard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER
Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defacement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!
Gerdhard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!